

令和2年度あいさつ運動について

あいさつ通りモデル自治会としての取り組み

●経過

平成23年度…自治会で任意に実施していただいていた「あいさつ運動」をより一層推進するため、積極的に啓発活動を展開するモデル自治会を募集し始める。
(初年度3自治会でスタート)

毎年、自治会長会・広報等で登録を呼びかけている。

●登録自治会（15自治会）

曲、国坂浜、大島、下神、弓原、駅前、北尾、田井、瀬戸、松神
西園、国坂中団地、由良宿2区、由良宿4区、みどり西団地



このまま「モデル自治会」を募集しつづけ、登録数を増やしていくのがよいか、
「モデル自治会」としては一旦終止符をうち、新しい形で進めていくのがよいか
再検討の時期



アンケートの実施

令和元年7月の自治会長会であいさつ運動に関するアンケートを実施

●アンケート結果（回答数…36/63自治会）

<効果がある> …18自治会

- ・声かけや見守りをすることで安全につながる
→活動してよかったではなく、何より子どもの安全が第一!!
- ・子ども達と顔見知りになれる
→子どもとの関わりで
「元気になる」「(住民同士も含め)日頃の交流につながる」

<課題がある> …13自治会

- ・継続した活動に自信がない
- ・負担感がある
- ・多忙や高齢化により活動できる人の確保が困難

<その他の活動>

- ・通学路見守り隊での活動
- ・スクールバス当番が毎朝見送りしている
- ・登校時には地域の大人と子どもたちがあいさつを交わすタイミングがないため、意図的に子ども達の顔の見える事業を開催している。
- ・少人数の自治会のため、住民全てが顔見知りであり、特に運動をしなくてもあいさつは普段から自然にしている。

<その他の意見>

- ・あいさつを返してくれない子どももあり、家庭や学校での指導も必要だと感じる。
- ・一部の団体に取り組んでも輪の広がりは期待できない。保育所、こども園、小中学校、役場、自治会・・・町内一斉に取り組むことで効果が上がると考える。

●アンケート結果から見えてきたこと

- ・課題はあるものの、あいさつ運動は重要で誰もが安心して暮らせるまちづくりを願う気持ちは共通
- ・モデル自治会でなくても、安心・安全につながる活動がされているところもある

顔の見える地域づくりが最大の防犯と言われています

顔が見える・分かる⇒不審者に気がつく⇒不審者が地域に入りにくい

つまり・・・“誰もが安心して暮らせるまちづくり”につながる!!



役員会を実施

11月13日（水）青少年育成北栄町民会議役員会にて協議

●協議し、事務局でまとめた結果

- ・モデル自治会という名前には抵抗を感じやすいため検討が必要
- ・願いや効果はあるのだからモデル自治会の名称を変えてでも取り組みは続ける
- ・目的をしっかりと伝え、取り組みへの意識を高める

【目的】

あいさつを交わし合うことによって、大人と子どものふれあいを深め、心と心が通じ合う温かい家庭や地域を築き、安心して暮らせるまちづくりにつなげる。

- ・地域に拡がる活動としていくためには、様々な組織や個人の活動も視野に入れ、実情に合った工夫が必要



今後の方針

- あいさつ運動は継続
- 地域の状況に合った取組の検討
- 来年度、自治会長会で報告

●令和2年度 あいさつ運動強調期間（予定）

（第1回）令和2年 6月22日（月）～ 6月26日（金）

（第2回）令和2年10月19日（月）～10月23日（金）